

Mizuho Daily Market Report

2024/3/21

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	151.47	151.26	+0.40	+3.50
EUR	1.0866	1.0922	+0.0056	▲0.0026
AUD	0.6530	0.6586	+0.0054	▲0.0035
SGD	1.3430	1.3397	▲0.0023	+0.0074
CNY	7.1994	7.1979	▲0.0015	+0.0111
MYR	4.7390	4.7367	▲0.0003	+0.0507
THB	36.11	36.17	+0.09	+0.44
IDR	15725	15715	+0	+137
PHP	56.14	56.14	+0.22	+0.73
INR	83.09	83.17	+0.13	+0.31
VND	24769	24784	+34	+114

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.273%	▲2.0 bp	+8.3 bp
日本(10年)	0.741%	+0.0 bp	▲2.6 bp
ユーロ圏(10年)	2.432%	▲1.8 bp	+6.6 bp
オーストラリア(5年)	3.692%	▲2.8 bp	+0.2 bp
シンガポール(5年)	3.039%	▲2.0 bp	+5.2 bp
中国(5年)	2.221%	+1.4 bp	▲3.5 bp
マレーシア(5年)	3.591%	+0.7 bp	+3.6 bp
タイ(5年)	2.246%	+0.0 bp	+5.2 bp
インドネシア(5年)	6.534%	▲0.5 bp	+2.5 bp
フィリピン(5年)	6.074%	▲0.6 bp	▲1.7 bp
インド(5年)	7.109%	+0.1 bp	+5.7 bp
ベトナム(5年)	1.760%	+0.0 bp	+7.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	39,512.13	+1.0%	+1.2%
N225(日本)	40,003.60	+0.0%	+3.4%
STOXX50(ユーロ圏)	5,000.31	▲0.2%	▲0.0%
ASX(オーストラリア)	4,225.49	+0.0%	▲0.4%
FTSE(シンガポール)	3,177.48	+0.1%	+0.5%
SSEC(中国)	3,079.69	+0.6%	+1.2%
SENSEX(インド)	72,101.69	+0.1%	▲0.9%
JKSE(インドネシア)	7,331.13	▲0.1%	▲1.2%
KLSE(マレーシア)	1,535.79	▲0.6%	▲0.2%
PSE(フィリピン)	6,856.77	+0.1%	▲1.6%
SETI(タイ)	1,373.18	▲0.7%	▲0.8%
VNINDEX(ベトナム)	1,260.08	+1.4%	▲0.8%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	285.52	▲0.5%	+1.6%
金	2,186.39	+1.3%	+0.6%
原油(WTI)	81.68	▲2.1%	+2.5%
銅	8,818.84	▲0.6%	▲0.2%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	150.60	—	151.40
EUR/USD	1.0740	—	1.0950
AUD/USD	0.6490	—	0.6690
USD/SGD	1.3250	—	1.3480
USD/CNY	7.1750	—	7.2280
USD/MYR	4.6460	—	4.8050
USD/THB	35.20	—	36.78
USD/IDR	15580	—	15900
USD/PHP	55.00	—	56.30
USD/INR	82.30	—	83.20
USD/VND	24,500	—	24,900

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

アジア時間は東京休日で閑散。19日に日銀がマイナス金利の解除やYCCの撤廃等を発表したものの、引き続き緩和的な政策を維持することを表明したことで強まった円売り圧力が継続。151円台前半の水準でオープンしたドル円は特段もみ合う事もなく上昇し続け、151円台半ばの水準で海外時間へ。アジア通貨は海外時間にFOMCを控える中、概ね軟調推移。

海外時間のドル円は円売りの流れが続き、151円台後半の水準でNYオープン。NY時間午前中はFOMCの結果待ちから、151円台後半での狭い推移が続く。NY時間午後に発表された注目の3月FOMCは、政策金利を現状の5.25%—5.50%に据え置く事を発表し、同時に発表された金利・経済見通しでは去年12月時点と同様に年内3回の利下げ予想が示された。その後に行われたパウエル議長との記者会見では、「現状の政策金利はピークにある公算」、「今年中に緩和を始めるのが適切になるだろう」等とハ派寄りの発言が伝わると、売りが優勢となり、一時150円台後半まで急落。その後も特段サプライズ発言は見当たらなかった。終盤は売り一巡となり徐々に値を戻し、151円台前半の水準でクローズ。

【金利】

前日の金利市場は、中期で特に低下し、イールドカーブはブルステイプ化。NY時間朝方は主要指標発表が少なく、市場は午後に発表されるFOMCの発表待ちで取引は小動きとなった。NY時間午後2時に発表されたFOMC政策金利および声明文は、政策金利は予想通り据え置ききの5.25%—5.50%となり、声明文も前回(12月)よりほとんど変わらない内容となった。同時に発表されたFEDメンバーによる見通しは、ドット図(政策金利予想)において、24年末の利下げについて従来通りの3回に据え置き、25年については利下げの回数を減らした。またインフレ率予想については24年末の予想を2.4%から2.6%へ引き上げた。この発表により、金利は発表直後利下げ予想が据え置かれたことで低下で反応したが、その後内容を消化するに従い上昇に転じ、長期ゾーンでは前日終値比小幅の低下にとどまった。パウエル議長の会見では、今年の利下げについて労働市場が堅調であっても行うだろうとの発言から、短期中期ゾーンでの金利は低下した。

【予想】

本日のドル円はやや軟調推移を予想も、下値は引き続き堅い流れとなるか。3月FOMCでは一部懸念されていた2024年DOTS引き上げは回避されたが、成長率、インフレ見通しは上方修正された。ドル円は150円台が定着する流れとなりやすいか。

【本日の予定】

(日本) 2月 貿易収支
(日本) 2月 首都圏新築分譲マンション
(日本) 3月 複合PMI(速) / 製造業PMI(速) / サービス業PMI(速)
(日本) 流動性供給入札
(アジア) 2月 中国 SWIFTグローバル支払 CNY
(アジア) 2月 豪 雇用統計
(アジア) 3月 インド PM製造業(速) / PMサービス業(速)
(アジア) 3月 豪 PM製造業(速) / PMサービス業(速)
(アジア) 台湾 金融政策会合
(欧州) 2月 ユーロ圏 EU27か国新車登録台数
(欧州) 3月 ユーロ圏 製造業PMI(速) / サービス業PMI(速)
(欧州) 3月 独 製造業PMI(速) / サービス業PMI(速)
(欧州) EU首脳会議(ブリュッセル)
(欧州) 英 金融政策会合
(米国) 2月 中古住宅販売件数
(米国) 2月 先行指数
(米国) 3月 フィデラルフィア連銀景況
(米国) 3月 製造業PMI(速) / サービス業PMI(速)
(米国) 4Q 経常収支(確)
(米国) TIPS入札(10Y)
(米国) 新規失業保険申請件数

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権は必ずしも銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。